



# 保護者のみなさまへ

〈家庭における人権教育〉

## 大切にしたい5つの視点

### ① 子どもの姿を温かく見守っていますか？

子どもの成長をほめたり、結果だけではなく努力やがんばりを認めたりすることが大切です。保護者から愛され、認められることが、自尊感情を育てます。

### ② 子どもとの触れ合いの時間を大切にしていますか？

保護者と子どもとの、心と体の触れ合いが絆を深めます。お互いが信頼し合い、安心して過ごせる家庭が、自分や他の人を大切にできる心育てます。

### ③ 子どもが動植物や自然と触れ合う機会を大切にしていますか？

動物をかわいがったり、草花を育てたりする体験は、生命を大切にできる優しい気持ちを育てます。また、美しい自然との触れ合いは、豊かな心情を育てます。

### ④ 子どもの立場に立って考えていますか？

表情、つぶやき、態度などから子どもの思いを察し、子どもの立場に立って考えることが大切です。保護者の温かいまなざしや優しい言葉掛けが、思いやりの心育てます。

### ⑤ 子どもと地域の人との関わりを大切にしていますか？

地域の人と関わる中で、子どもと一緒に過ごす楽しさや人の役に立つことの喜びを味わえるようになります。様々な人と関わることで、社会性を育てます。

本資料を参考に、人権について親子で話し合ってみましょう。  
なお、詳しい資料については、下記のWebサイトに掲載されています。

■ 法務省：啓発活動

法務省 啓発

検索

[http://www.moj.go.jp/JINKEN/index\\_keihatsu.html](http://www.moj.go.jp/JINKEN/index_keihatsu.html)

■ 群馬県—群馬県人権教育充実指針

群馬 人権 指針

検索

<https://www.pref.gunma.jp/03/x2310004.html>

〈発行日〉令和2年12月

〈編集発行〉群馬県教育委員会 義務教育課

## 保護者のための人権教育資料

# みんなの願い

群馬県では、11の重要課題を設定し、  
偏見や差別のない社会の実現を目指しています。  
ご家庭でも、協力をお願いいたします。



女性



子どもたち



高齢者



障害のある人たち



同和問題



外国籍の人たち



HIV感染者等の人たち



ハンセン病患者の人たち



犯罪被害者等



インターネット等による人権侵害



その他の人権問題



群馬県のマスコット  
ぐんまちゃん

群馬県教育委員会



## 高齢者

高齢者を阻害したり、蔑視したりするなどの問題があります。また、介護者等による身体的・心理的・経済的虐待などの問題があります。

高齢者との交流を通して、豊かな経験から学ぶ機会を増やすことが大切です。



## 女性

「女だから…」などという、男女の役割を固定的にとらえる意識が依然として残っていることから、社会の様々な場面において女性が不利益を受けるなどの問題があります。

男女が互いに相手を尊重し、協力し合うことが大切です。



## 子どもたち

学校では、いじめや不登校、教師による体罰など、家庭では、親が子どもにしつけと称して暴行を加えたり、育児を放棄したりするなど虐待の問題があります。

子どもたちが健やかに成長できる環境をつくる  
ことが大切です。



## 障害のある人たち

障害を理由とした就労差別や入居、入店拒否などの問題があります。また、施設における劣悪な処遇や虐待などの問題があります。

障害のある人たちに対する理解を深め、相手の立場に立って考え、必要な配慮をすることが大切です。



## 同和問題

日本社会の歴史的過程で形作られた身分差別により国民の一部の人々が長年にわたり差別される不合理な問題です。現在でも、結婚や就職に際して差別を受けるなどの問題があります。

同和問題に対する正しい理解と認識を深めることが大切です。



## HIV感染者等の人たち

誤った知識により、感染者に対する偏見や差別などの問題があります。正しい知識に基づいて日常生活を送る限り、感染はしません。

HIVやエイズに対する正しい知識を身に付けることが大切です。



## 犯罪被害者等

事件による直接的な被害だけでなく、マスメディアの興味本位の報道や過剰な取材、周囲の言われなき中傷などによる二次被害が問題となっています。

犯罪被害者やその家族の心情に配慮することが大切です。



## その他の人権問題

アイヌの人々、性的マイノリティの人たち、ホームレスの人たちなどに対する偏見や差別、北朝鮮当局による拉致問題などがあります。

アイヌの人々や性的マイノリティの人たちなどに対する偏見や差別、拉致問題など、様々な人権問題について考えていくことが大切です。



## インターネット等による人権侵害

インターネットの匿名性を悪用して、差別的な書き込みや他人への誹謗中傷など、個人の名誉やプライバシーを侵害する問題があります。

SNSやインターネットの利用に関するルール・マナーを正しく理解することが大切です。



## 外国籍の人たち

言葉や生活習慣の違いを理由とした、就労差別や入居、入店拒否などの問題があります。また、一部の国や民族などに向けて憎しみをあおるような差別的表現が行われるなどの問題があります。

外国籍の人たちへの理解を深め、文化の違いを認め合うことが大切です。



## ハンセン病元患者の人たち

誤った知識や思いこみにより、元患者とその家族の人たちに対する偏見や差別などの問題があります。ハンセン病はすでに治療方法が確立されています。

ハンセン病に対する正しい知識を身に付けることが大切です。

自分の大切さとともに  
他の人の大切さも  
認めることができること  
それが、みんなの願い

